



前橋市総合教育プラザ

# 幼児教育センターだより

第65号

平成29年6月発行

幼児教育センターの取組

～「寄り添う」ことと「つなぐ（つながる）」こと～



前橋市総合教育プラザ

幼児教育センター所長 山口 敏明

幼児教育センターでは、まえばしの子ども達の健やかなる成長に向けて、保育の充実と更なる向上をめざした『研修』業務と、園所において育まれた子ども達の成長を、確かなかたちで小学校へつなぐ『相談』業務の2つを中心に取り組んでいます。そして、これらは市内保育所（園）・認定こども園・幼稚園、さらに小学校・特別支援学校等との協力・連携なくしてはありえないと感じています。

幼児教育センターとして、今年度の『研修』において積極的に活用していきたいものに、『まえばし幼児教育充実指針 めぶく～幼児の育ち～ 子どもも大人も育ち合うために』（以下、『めぶく』）があげられます。昨年度、幼児教育に携わる専門家や園所等関係者、保護者、福祉部など多くの方々のご協力を得て作成しました。

本冊子『めぶく』は、ご覧いただくことを目的として作成したものではなく、教職員の方々をはじめ、保護者や地域の方々が、『めぶく』を使って、自らの体験を振り返りながら話し合ってくださいとすることで、幼児期の体験活動の必要性や大切さを改めて感じていただくことができると作成しました。話し合うテーマとして「外で遊ぶ」「友達とかわる」「自然に触れる」「道具を使う」「食べる」の5つを「めぶきの1～5」として示し、「なぜ必要なのか？大切なのか？」を考えていただく資料&解説を掲載するとともに「話し合い用シート」等も添付しました。

ぜひ、『めぶく』を活用した話し合いの場を設定していただくとともに、その際には前橋市幼児教育アドバイザーによる「出前研修・出前相談」をご利用いただければと思います（今号の幼児教育センターだよりで、幼児教育アドバイザー13名の紹介コーナーを掲載しました）。

また、『相談』は、平成30年4月に小学校入学を迎える市内在住の年長児と保護者を対象に就学相談と幼児教室を実施しています。就学相談では、お子さんの様子を観させていただくとともに、学校での支援や指導体制等について情報提供をしたり、就学に向けて不安や悩みを一緒に考えたりしながら、園所で育んだ子ども達の成長を就学先の学校へ円滑に移行できるよう支援していきます。

これら「研修」も「相談」も、その取組を充実したものとするためには、関係機関及び教職員、保護者、地域の方々との連携と協力、「寄り添い」・「つながる」ことが必要不可欠と考えています。まえばしの子ども達のよりよい成長を目指してみなさんとともに寄り添い、つながっていきたく思いますので、どうぞ、よろしくをお願いします。

